

2020 年度

授業概要

科目名	解剖学 I			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	38回	時間数	75時間 (4単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	前期	必修・選択	必修
[授業の目的・ねらい]								
<p>身体のかたちや構成を知り、そのかたちが意味するものや機能(はたらき)を理解する。特に、理学療法にとって、骨や筋などの運動器や神経系は非常に重要である。そのため、身体各部位の運動器系において、形態や内部構造、その機能との密接な関係について理解し、今後の理学療法学専門領域の学習の礎を築く。</p>								
[授業全体の内容の概要]								
<p>身体を形づくり、運動を行う運動器系を頭部、体幹、上肢、下肢に分け、それぞれの形態と機能を系統的に解説する。また、臨床所見とも関連付けて講義を行う。</p>								
[講師の実務経験]								
<p>リハビリテーション病院にて主に脳血管障害に対して12年間理学療法士として従事する。</p>								
[授業終了時の達成課題(到達目標)]								
<p>全身の運動器系の名称から形態と機能、存在場所、多臓器との関連が説明できる。</p>								
回数	講義内容							
1	骨の構造と機能①							
2	骨の構造と機能②							
3	骨の構造と機能③							
4	骨の構造と機能④							
5	上肢帯の骨;肩甲骨、鎖骨、胸骨							
6	上肢の骨;上腕骨							
7	上肢の骨;尺骨、橈骨							
8	上肢の骨;手根骨、指骨							
9	下肢帯の骨;寛骨(腸骨、恥骨、坐骨)							
10	下肢の骨;大腿骨、膝蓋骨							
11	下肢の骨;脛骨、腓骨							
12	下肢の骨;足根骨、趾骨							
13	体幹の骨;脊椎、肋骨							
14	体幹の骨;頭頸部の骨							
15	関節の構造と機能①							
16	関節の構造と機能②							
17	関節の構造と機能③							
18	関節の構造と機能④							
19	筋の構造と機能①							
20	筋の構造と機能②							
21	肩甲骨周囲筋							
22	上腕骨周囲筋							
23	前腕骨周囲筋							
24	手部の筋							
25	骨盤帯周囲筋							
26	大腿骨周囲筋							
27	下腿骨周囲筋							
28	足部の筋							
29	胸郭、脊柱の筋							
30	体幹筋(アウター)							
31	体幹筋(インナー)							
32	神経の構造と機能①							
33	神経の構造と機能②							
34	末梢神経叢①							
35	末梢神経叢②							
36	体表解剖基礎 <ランドマークについて①>							
37	体表解剖基礎 <ランドマークについて②>							
38	まとめ							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
授業時に必要なプリント資料を配布する。		

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

出席状況、授業態度、体力診断テスト、定期考査、レポートに基づき総合的に評価する

